

3年            かつこいいじいちゃん

宮城県気仙沼市小原木小学校 吉田 巧樹  
指導者 伊藤 英樹

ぼくの名前は、<sup>こうき</sup>巧樹です。「巧」と「樹」の字が好きだからと、じいちゃんがつけてくれました。

「巧」という字は、「たくみ」と読んで、大工さんという意味があるそうです。「樹」は、木が好きだからだそうです。

ぼくのじいちゃんは、大工さんです。じいちゃんのお父さんも大工さんで、ぼくのお父さんも大工さんです。ぼくの家は、昔から大工の仕事をしています。だから、ぼくにも大工さんになってほしいと思って、「巧樹」という名前にしたんだと思います。

じいちゃんは、丸太が大好きです。丸太の話をしているときは、とても元気です。でも、このごろこしがいたいと言っています。早くよくなるとういと思っています。

じいちゃんが大工になって、今年で五十年になります。じいちゃんが、丸太から作った家はたくさんあります。でも、作った家もつ波でたくさん流されてしまいました。ぼくの家も流されてしまいました。流された地区のがれきの様子を見ているじいちゃんは、とても悲しい顔をします。ぼくも、悲しいです。

じいちゃんは、毎日庭で大工の道具をきれいにみがいています。じいちゃんのお父さんからもらった道具もあったので、とても大事に使っていました。だけど、つ波に流されてしまったと、とてもさびしがっていました。

でも、じいちゃんは、ぼくのため、みんなのため、家を作りたいとがんばっています。

じいちゃんは、上とう式のために、小さなはこを作ります。神様をおむかえするむなばこというものです。つるとかめの絵を絵の具でかきます。雲の中につるとかめがかくれている絵は、とてもむずかしいけど、できあがるととてもかっこいいです。ぼくは男の子だから、絵の手伝いをしてもいいと言われたので、いっしょにがんばります。ぼくが手伝う絵は、矢羽根というそうです。五色のはたもあります。

屋根に五色のはたとむなばこと矢羽根を上げるとぼくは、上とう式が始まります。じいちゃんは、吉田と書いてあるはんてんを着ます。むずかしい歌も歌います。ぼくには、歌の中身は分かりませんが、歌っているじい

ちゃんはカッコいいです。

ぼくは、上とう式が大すきです。おもちが食べられるからです。作っている家の人や大工さんたちが、屋根からおもちを投げます。ぼくは、おもちをひろうのも好きなので、おもちをまく時間をぼくが学校から帰る時間まで待ってとおねがいします。

おもちもうれしいけど、もっとうれしいことがあります。それは、じいちゃんや大工さんたちのうれしそうな顔を見ることです。お酒を飲むじいちゃんは、あまり好きではないけど、上とう式には、たくさん飲んでほしいです。上とう式のじいちゃんが、一番カッコいいです。

ぼくは、大人になったら、大工さんになりたいです。じいちゃんをいっしょに、上とう式がしたいからです。じいちゃんが、家族のためにたててくれた家は、つ波で流されてしまったので、今度はぼくがじいちゃんに家をプレゼントします。入り母屋づくりのでっかい家を作ります。家が流されてしまったたくさんの人たちにも、じょうぶな家をたてて、つ波の前のような生活ができるようにしたいです。

ぼくが大工になるのは、まだまだ先のことです。でも、じいちゃん、それまで元気で待っていてね。じいちゃんが大事に使っている道具は、ぼくがもらうよ。だから、お父さんにはあげないでね。いっしょに仕事ができるようになったら、たくさん教えてね。上とう式で、いっしょにお酒も飲もうね。カッコいいじいちゃん、これからもがんばってね。